

Ⅶ. その他の目的を達するために必要な事業（寄付行為第 4条 7号）

新聞委員会

委員在籍数	委員会開催回数	延出席数
8名	11回	69名

今年度の活動方針：名古屋YWCAの活動を幅広く知ってもらうため、またYWCA会員への情報の共有のため、2か月に1回発行する機関誌を最大限に利用する

上記の計画のもとに今年度も2か月に1回の発行で名古屋YWCAの活動を外部に、またYWCA会員へ知らせる働きをしてきた。紙面の構成については社会問題を取り上げ伝える、YWCAの活動を知らせる働きや古くからの会員の方に紙面を通じて関わり作るなどの工夫をした。

その他に、憲法改正の動きが強まった本年、9条に関する記事をチャールズオーバビーさんに依頼したことがきっかけで、紙面のみならず、プログラム開催も行った。

【開催プログラム】

開催日	プログラム名	テーマ	講師名	回数	人数
6/5	オーバビーさんの声を届けたい ～国境なき憲法 9 条の魔法に思いを馳せよう～	憲法 9 条について	チャールズ・オーバビー	1	21

広報委員会

委員在籍数	委員会開催回数	延出席数
7名	12回	49名

今年度の活動方針：YWCAらしい広報のあり方を展開していく。

プログラム

旅人打鈴 織茂秀子 朗読と講演
『私が日本軍慰安婦を演じる理由』
日時：11月10日(土)
13：30～16：00



今年度の広報委員会では、より広く、さまざまな方々に名古屋YWCAを知ってもらいたいという思いに基づいて活動を行ないました。

まず、ホームページ小委員会を4月より立ち上げ、現行のホームページについての検討を行ない、どんなコンセプトで発信していくのかについて話し合いました。

9月には、「第16回全国ボランティアフェスティバルあいち・なごや」が開催され、ブース出店を行ないました。バザーの宣伝を兼ねてのクッキー販売やYWCAグッズ販売を行ないながら、名古屋YWCAの紹介を行ないました。そこではただチラシを配るだけではなく、手渡ししながら話をする事で、YWCAのことをよりよく知ってもらうことができ、改めて「Yでは『人』が重要な広報媒体」とあるということを確認しました。

さらに、昨年度同様、より広く名古屋YWCAを知っていただくために、11月に一人芝居を行なっている織茂秀子さんをお招きし、「私が従軍慰安婦を演じる理由」と題して朗読と講演を行ないました。初めて名古屋YWCAを訪れる方もいらっしや、柚子茶と韓国のお菓子をいただきながら、アットホームな会を持つことができました。

新体制を迎える前に、パンフレットやグッズを各部署で活用していただけるような書類を調べています。また新年度に向けて英文パンフレットを作成しています。
(増井 さとみ)

【開催プログラム】

開催日	プログラム名	テーマ	講師名	回数	参加人数
9/23	第16回ボランティアフェスティバル あいち・なごや	ボランティア普及活動		1	名古屋 Y から 7名
11/10	旅人打鈴 織茂秀子 朗読と講演 『私が日本軍慰安婦を演じる理由』	元日本軍慰安婦の女性たちの現在について	織茂秀子	1	34名

人 事 委 員 会

委員在籍数	委員会開催回数	延出席数
9名	12回	62名

今年度の活動方針：職員の待遇改善

- ・女性の自立を訴える「YWCA」の職員が、自立して生活できないような待遇ではいけない。日本 YWCA を中心に各 YWCA の待遇改善に向けて、情報の共有を行った。その結果、名古屋 YWCA としては、特に給与規程に関して、まずは次年度から部署責任者の職務手当の見直しを行い、経験年数により段階的に手当を上げることとなった。
 - ・人事評価表を作成し、職員が自己評価を行うとともに、日報を付けることを習慣づけるよう指導した。
 - ・2月末、3月末、4月末をもって3名が退職することになり、新規採用2名を内定した。
- (川瀬 命子)

会 員 委 員 会

医員在籍数	委員会開催回数	延出席数
8名	12回	79名

今年度の活動方針：会員活動像の新機構築を計り、ボランティアネットワークの新システムを考案していく



4月に会員に対し、社会福祉協議会のボランティア保険の加入を呼びかけ手続きをしました。

7月に会員交流企画としてアフリカンサマーパーティーを開催しました。ジャンベの演奏で始まり、ケニアで開催された世界 YWCA 総会(4年に1回)に名古屋から参加した2人の若い会員の報告+会員活動紹介+交流+ミニバザー+軽食と、盛りだくさんのアフリカンな楽しい一日の中で、他の活動に目を向け、交流する機会をもつことができました。それぞれの活動が YWCA の基盤に立って行われていること、YWCA で活動するという意味があらためて問われ、確認できました。この機会に辺野古の基地移設反対運動へのカンパも募ることができました。

また 来年度の新組織移行支援として、新たな会員像、グループのあり方の提示、講師派遣システム、グループの活動マニュアル等も作成しました。名古屋 YWCA の活動紹介ファイルも継続してロビーに設置しました。

11月に桃陵中学の総合学習として3日間、3年生の「国際交流」を担当し、12月にはミッション・平和委員会と共同でクリスマス祝会を共催しました。

(蓮尾 陽子)

【開催プログラム】

開催日	プログラム名	回数	人数
7/28	アフリカンサマーパーティー	1	65
12月	年長会員の方へクリスマスカード送付	1	40
年間	「グループ紹介ファイル」作成・設置		
3月	「グループ活動マニュアル」作成、配布		

総合学習



11月に行われた小牧市立桃陵中学校の総合学習は、今年度は中学3年生の国際交流の授業を行った。今回は各授業において、生徒からはパワーポイントを用いた修学旅行のプレゼンテーションを、ゲストの外国人講師からは自国の紹介を行うという試みであった。

1月には名古屋市立若宮中学校の市内分散学習を受け入れ、ストーリーチルドレンについて授業を行った。(加藤 佐紀子)

【開催プログラム】

開催日	プログラム名	講師	回数	人数
11/6	小牧市立桃陵中学総合学習 3年 留学生・在住外国人との交流 = スロヴァキア 編	パヴロウスカ ヴィクトリア	2	80
/8	= ネパール 編	マク バジヤルヤリア	2	80
/9	= フィリピン 編	バージ 石原	2	80
1/31	名古屋市立若宮中学校1年 市内分散学習	瀬尾 さとみ	1	9

【開催プログラム】

1. 国際交流会

開催日	プログラム名	参加者	交流会メンバー
4/4~11	名古屋大学留学生外国人登録のお手伝い	48	延9
9/27-28 10/3-9	名古屋大学留学生外国人登録のお手伝い	64	延11
4/7	名古屋大学留学生歓迎会	32	10
4/17,20,21	名古屋大学留学生バザー準備・当日手伝い	240	延7
10/20	名古屋大学留学生バザー準備・当日手伝い	230	延13
年間 34回	名古屋YWCA日本語学校おしゃべり広場	延370	延205

【外国人が話す日本語サロン】

5/19	光輝く島：スリランカ	アサンカ プラモード バッレワッタ 岐阜大学大学院	38
7/7	知っていますか？ イランのこと	アクバル エスカンダープル 名古屋大学工学研究科	48
9/15	東方儀礼大国の西海から日本へ	ペ ソンフン 名古屋大学法学部 交換留学生	36
11/17	インカの国：ペルー	カワカミ イルマ 名古屋YWCA日本語学校生 サクバル ダニエル 名古屋YWCA日本語学校修了生	37
1/19	多様性の中の統一：インドネシア	ファルダ ブライダー 名古屋大学日本語・日本文化研修生	32
3/15	私の故郷 スコットランド	レイラ ラムジー 名古屋YWCA日本語学校生 ルイーズ ジョンストン 名古屋YWCA日本語学校生	38

2. つくしの会

開催日	プログラム名	人数
7/9	七夕ダンスパーティー	31
11/5	秋のダンスパーティー	28
12/17	クリスマスダンスパーティー	24
2/12	バレンタインダンスパーティー	24

3. 歌の会ラルゴ

開催日	プログラム名	人数
12/14	福祉施設(デイサービスセンター 星が丘)訪問	35

4. アジア英語の会

開催日	プログラム名	講師	人数
10/30	フィリピン・バーヤンムーナ書記長スピーキングツアー	レナト B レイエス	50

5. こすもすの会

開催日	プログラム名	内容	人数
5/28	春の会	高齢会員と交流（食事と懇談）	12
11/12	秋の会	〃	12

6. スープキッチン

4～6月	路上生活者への配食サービス	スープとパンの提供	13回	325食
10～3月	路上生活者への配食サービス	スープとパンの提供	13回	390食
7～9月	路上生活者への配食サービス	日曜日早朝おにぎり味噌汁の提供	3回	23食
随時	日用品・新品の下着・中古衣料を提供した			

7. 福信館炊き出し洗い

4～3月	笹島共生会（ホームレスにたいする配食サービス）の食器洗い	12回	87人
------	------------------------------	-----	-----

8. 愛光園給食作り

4～3月	重度障がい児通所施設の給食作り支援	42回	126人

グループ活動（4-3月）														
2007年 度	在籍	在籍の内訳							助言者	職員	回数	延出席人数		
		会員	会友	その他	年少	成人	女性	男性						
福祉	テレホンサービスボランティアグループ	11	11				11	11			11	81		
	音声訳グループ	14	9	1	4		14	14			11	96		
	点訳グループ	3	2	1			3	2	1		11	25		
	美術ガイドボランティアグループ	14	14				14	14			11	93		
青少年部	からころの会	7	2	1	4						60	384		
	子どもプログラムリーダー会 ちゃすきん	11	2	1	8		11	7	4				※①	
	Lumine(ルミネ)	10	3	1	6						4	18		
平和	オリーブの樹	8	2	2	4		8	6	2		8	33		
女性	あさの会	8	7		1		8	8			14	70		
会員	旧約を読む会	12	12		0		12	12			11	102		
	キリスト教研究会	12	12				12	12			6	27	※②	
	鳴子もより会	7	7				7	7			11	59		
	岡崎もより会	14	0	2	13		14	14			3	25	※③	
	手芸グループ	9	9				9	9			42	295		
	国際交流会	17	17				17	17			14	136		
	歌の会ラルゴ	16	16				16	16			11	139		
	アジア英語の会 (旧 アジアの英会話)	7	2		5		7	3	4	1		37	169	
	古典を読む会	7	7				7	7			9	28		
	グループみずのわ	7	6	1			7	7			12	59		
	つくしの会	23	13	11			23	13	10		52	735		
	スープキッチン	9	6	0	3		9	8	1		1	16		
	こすもすの会	6	6				6	6			2	18		
	POP&ARTぐるーぷ	7	7				7	7			20	92		
小さい平和の権	5	4	1			5	5			6	19	※④		
グループ活動 合計		244	176	22	48	0	227	205	22		367	2719		
	※① 子どもプログラムリーダー会 2007年4月末解散													
	※② キリスト教研究会 2007年12月～2008年3月休会													
	※③ 岡崎もより会 2007年 7月名古屋YWCAから離脱													
	※④ 小さい平和の権 2007年 10月より発足													

他 団 体 協 働

今年度の活動方針：不特定多数の人々共に他団体と協働し、平和運動を展開する。



5/12

My Lai (ミライ) から築く未来—虐殺を乗り越えて～
ベトナム帰還兵 マイク・ベイム氏と語る～



7/14

ピースアクション 7・14



9/9

キャンドルピースギャザリング



11/24

ストップ・ザ・ウォール・キャンペーン ファト・ケ'イト氏ス'キングツア in 名古屋
「パレスチナからファトヒさんがやってくる」

るプログラムは急激に増加の一途をたどった。昨年まで、この分野では主に他市民団体からの呼びかけに応え、アピール文の作成や、広報的な役割を担ってきた。今年はそれらに加え、各団体と協働して署名活動の実施、プログラム実施にあたりボランティア募集及び・コーディネート業務、YWCA 自ら他団体へ呼びかけてプログラムを実施するなど、プログラムをより不特定多数の多くの人と共に行うための業務を担った1年だった。

また今年度は市民団体だけでなく大学のゼミが実施する講演会の協働業務、愛知県の防災ボランティア連絡会のような行政との協働も行った。大学のゼミとの協働ではプログラムや講演会を初めて行う青少年に向けて、チラシ作成や広報行動など、YWCA の通常業務のスキルを生かして、青少年の社会参画を助力するコーディネートを行った。防災ボランティアとの連携では、愛知県が事務局を担う防災に取り組む他市民団体と定期的に連絡会を持ち、災害時に設置する広域ボランティア支援本部の防災訓練や、防災への理解を深める防災フォーラムの実施など、県民に向けて防災理解を促進するための事業の協働を行った。

このように本年度は協働の分野に広がりが生じると共に、YWCA が行ってきたボランティアコーディネート、青少年育成等に携わる経験も活かされた1年となった。
(瀬尾 さとみ)

【開催プログラム】

開催日	プログラム名	テーマ	講師名	回数	人数
4/8	NCC 早天礼拝	「死後の復活」	川崎信二牧師	1	80名
4/14	爆弾を落としつづけるアメリカ 平和を装いつづける日本 でも、只今 再編中(共催：自衛隊イ ラク派兵差し止め訴訟の会、有事法 制反対ピースアクション)	イラク特措法、憲法改正、米軍再編から平 和について考える	板垣雄三 田村順玄 中谷雄二	1	70名
4/22	映画上映「あんによんサヨナラ」と 織茂秀子さん講演会 (共催：同実行委員会)	靖国合祀問題から考える日韓の平和につい て	織茂秀子	1	98名
5/12	My Lai (ミライ) から築く未来—虐殺を乗り越えて～ベトナム帰還兵 マイク・ベイム氏と語る～(共催：南 山大学藤本博ゼミ)	ベトナム帰還兵であるマイク・ベイム氏が その経験から始めたベトナムの支援活動か ら平和について考える	マイク・ベイム	1	108名
5/13	NCC 講演会 信仰から憲法を見る (共催：NCC)	憲法改正について	井掘哲	1	34名
7/2	NCC 総会	2006 年度事業報告・決算	楠本茂樹	1	16名

		2007年度事業計画・予算			
7/14	ピースアクション 7・14 (共催：同実行委員会)	参議院選挙の投票に積極的に参加し、平和な社会を作ることに街頭でピースアクションを実施		1	40名
8/13-16	あいち平和のための戦争展 (共催：沖縄ネットワーク)	戦争にまつわる様々なテーマの展示及び講座の開催の中で、辺野古の米軍基地建設問題に関する展示及び、講演会を実施	松本亜季	1	700名
9/2	愛知県広域ボランティア支援本部設置防災訓練(共催：愛知県防災のための連絡会)	震災時の広域ボランティア支援本部の訓練		1	17名
9/9	キャンドル・ピース・ギャザリング(共催：同実行委員会)	憲法9条を守り平和を伝えるために実施。9条を考える道南の会が呼びかけた全国一斉9の日行動に応えたものでもある。	Voices of Vision	1	85名
11/11	「テロとの戦い」と日本～インド洋・イラクへの派兵を改めて問う(共催：自衛隊イラク派兵差し止め訴訟の会、有事法制反対ピースアクション)	イラクにおける自衛隊の給油活動について	湯浅 一郎	1	37名
11/24	ストップ・ザ・ウォール・キャンペーン ファトヒ・クディラト氏 スペーキングツアー in 名古屋「パレスチナからファトヒさんがやってくる」(共催：同実行委員会)	パレスチナ・ヨルダン溪谷におけるイスラエルによる人権侵害状況について	ファトヒ・クディラト	1	57名
12/1	真喜志好一氏講演会 辺野古基地建設の真相を暴く (共催：沖縄ネットワーク)	辺野古における基地建設の問題を環境アセスの観点から考える	真喜志好一	1	72名
1/20	防災ボランティアフォーラム (共催：愛知県防災のための連絡協議会)	防災啓発	山田花子、福田伸夫、栗田暢之	1	23580名
3/20	イラク開戦から もう5年 STOP THE WAR 3・20国際行動 in なごや イラク・アフガニスタンに平和を！(共催：同実行委員会)	中東における平和を伝えるプログラム		1	300名

【会議出席】

加盟ネットワーク名	役割	年間延べ会議数	延べ出席者数(名古屋Yからの参加者)
愛知県防災のための連絡協議会	愛知県が事務局を担う連絡会 震災・災害時に広域ボランティア支援本部を設置する母体となる。 通常の連絡会では防災啓発活動に関する企画・運営や情報交換を行っている	4	62(瀬尾)
沖縄ネットワーク	沖縄に関係する名古屋の市民グループで緩やかなネットワークを組織し、継続的な学習会による啓発活動や情報交換、緊急統一行動などを行う際の共同歩調を取るなどの際、呼びかけ団体となる。	17	161(瀬尾)
名古屋キリスト教協議会 (NCC)	ゆるやかな連帯と協力の下、プロテスタント教会各派及び、関係諸団体が交流し、伝道と社会的責任を果たすために事業を進めている開かれた主にある協力体	5	71(近藤・瀬尾)

世界 Y W C A 総会 派遣



HIV 啓発を目的に企画された MTV 映画コンテストに参加した神谷さんのチームは優勝し、世界エイズデーに世界に配信された。

2007年7月1日から11日まで、ケニア共和国ナイロビにて4年に一度の世界YWCA総会が開催され、名古屋YWCAからは新倉春美(青少年部委員長)、神谷理恵子(職員)の2名を派遣した(日本YWCAからの参加者は21名)。「生活を変革し、コミュニティを変革する」をテーマに臨時総会では会則改正が行われ、女性サミットではHIV/AIDSへの取り組み等について検討された結果、「10の行動への呼びかけ」が採択された。内容については7月28日の特別集会「アフリカンサマーパーティー」で楽しく報告された。(近藤 真由美)

天津 YWCA 交流実行委員会

委員在籍数	委員会開催回数	延出席数
8	5	32



上: 交流会が開催された会館前にて
下: 天津YWCA幼稚園にて

2005年8月、天津YWCAから2名の方を名古屋YWCAにお招きした。日本YWCA主催「広島を考える旅」に青少年らと参加して、「核」問題を一緒に考えた。名古屋Yにおいては、日本語学校の見学をはじめ、福祉プログラムの参加や親睦会などの交流を通して友好の時を持った。「次は天津で待っています」と別れてから2年を経て、中国の旅の実現となり、参加者16名は天津YWCAあげての大歓迎を受けた。今後に向けて、青少年を対象とした歴史認識問題や環境教育をいっしょに学ぶ重要性を確認しあった。

実行委員会では、天津Yとの交流を企画するにあたって、「日本YWCA100年史」から、日本YWCAと中国YWCAの関係を学んだ。その中で、日中間の歴史を踏まえることの重要性とその上に立って、顔と顔のみえる関係づくりをしていきたいとの合意を得た。事前学習会では、日本中国友好協会愛知連合会の仲野丘人さんを迎え、日中戦争のビデオ鑑賞と中国(天津)の歴史、文化などを学び、参加者の中国への思いにも耳を傾けた。(永山 峰子)

【開催プログラム】

開催日	プログラム名	テーマ	講師・ファシリテーター名	回数	人数
6/23	事前学習会	日中(天津)の歴史、強制連行	仲野丘人	1	13
8/27～ 8/30	天津YWCA交流の旅	1・2日目天津YWCAレセプション 幼稚園事業見学、今後に向けての話合い 3・4日目北京 盧溝橋・抗日戦争記念館見学、観光		1	16

日韓ユースカンファレンス実行委員会

(日本 YWCA 主催)

委員在籍数	委員会開催回数	延出席数
7	7	46



日韓ユースカンファレンス参加者



交流会では沖縄のガチャンを踊りました。

日本 YWCA 主催の国際プログラム「日韓ユースカンファレンス」に協力するという形で名古屋 YWCA に集う若い人たちが実行委員会を組織、ウィルあいちと名古屋 YWCA を会場に3泊4日で開催した。

今年度は「移住女性をとりまく社会意識の改革～私たちにできること～」をテーマとし、日韓あわせて32名が参加した。移住女性をテーマとするのは3年目になるが、従来までの「移住女性の現状について学ぶ」ことから一歩進んで「学んだことを伝える」ことに焦点をあてた。参加者は日韓混合のグループに分かれワークショップ作りに取り組んだ。お互いの社会的・文化的背景や考えの違いに直面し、議論が深まりワークショップの完成に時間がかかったグループもあったが、どのグループでも個性あふれるワークショップができあがった。「大変だったが、国の壁を乗り越えて協力できてよかった」というコメントが表す通り、参加者は一緒に何かをつくり上げるために協力するという非常に重要な経験をした。

他にもフィールドワークとして外国からの移住者の多い池田公園とその周辺を視察し、滞日フィリピン人の劇団 DUYAN による移住女性をテーマとした演劇や歌の公演も行った。

交流会では、日本・韓国・フィリピンの参加者が言葉と文化の違いを超えて、一緒に交流を楽しんだ。日本で暮らすフィリピンの人々と実際に交わることで共生の大切さと楽しさを肌で感じる機会となった。

来年度のテーマは、若い世代に身近な問題を扱いたいという意見があり、「女性をとりまくインターネット問題」に決定した。来年度は韓国で開催される。日本からもたくさんのユースが参加し、若い感性を生かして今しかできない体験をしてきて欲しい。

なお、DUYAN による演劇のプログラムは愛知県国際交流協会の助成金を得て実現した。
(新倉 春美)

【開催プログラム】

開催日	プログラム名	テーマ	講師・ファシリテーター名	回数	人数
10/6, 7	オリエンテーション	移住女性事前学習	鈴木伶子 他	1	17
11/1 ~ 11/4	日韓ユースカンファレンス	移住女性をとりまく社会意識の改革～私たちにできること～	滝栄一 他	1	32